

冬休み前 朝会 校長挨拶

いよいよ明日から冬休みに入ります。2学期の前半は、学習発表会、持久走大会、かしの木まつりなどがありました。学習発表会は、どの学年も協力していい歌、いい演奏、いい演技でした。持久走大会では、つらいことやめんどくさいことに負けない強い心を見せてもらいました。かしの木祭りでは、みなさんの楽しいアイデアと優しい姿を見せてもらいました。

4月に「ま・け・な・い」を合言葉にして一歩成長させてほしいと話しましたが、どの学年の人も少しずついろいろなことができるようになったり、周りの人のことを考えて行動できるようになったりと、成長した様子が見られました。

冬休みに入るに当たって。校長先生から皆さんに2つお願いをします。

1つ目は、命を大切にすることです。命を守る合言葉は「こうゆうすいか」こう 通安全。ゆう か
い。すい 水の事故。 か 火の事故。でしたね。担任の先生から、気を付けることが詳しく話されますから、自分の命をしっかり守ってください。

2つ目は、自分を成長させることです。

いいことをたくさんしてください。いいことをつづけることを「徳を積む」といいます。

桑田真澄さんって知ってますか。マツのお父さんでコマーシャルと一緒に出ていますが、プロ野球の巨人軍のエースピッチャーでした。何年か前に白石でお話をしていたのですが、桑田さんは毎朝早く起きて一人でトイレ掃除をしていたそうです。それで運がよかったかもしれないと言っていたそうです。

良いことをした後ってとっても気持ちがよく、いい気分になりますよね。また、だれかのために行動することができる、「自分でも誰かの役に立つことができるんだ」という自信につながります。さらに「ありがとう」と言われるととてもうれしくなります。学校だと毎日の掃除を一生懸命にするとか、ごみ拾いや元気にあいさつをすることもいいですね。家だとくつをそろえたり、食器を運んだり、自分にできることでいいんですよ。誰も見ていなくても、神様が見ていてくれて、きっといいことがありますでは、冬休み明けに、どんないいことがあったか教えてくださいね。

では、お話を終わります。